

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ★家庭学習と読書推進のポイント教えます★

---

☆☆☆ このメルマガの内容とは？ ☆☆☆

このメールマガジンは、教育振興運動全県共通課題（「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」）の推進にあたり、実践事例の紹介や意見交流を行うために、各実践区事務局、県内小中学校、市町村教育委員会、県内指導主事・社会教育主事、そのほか関係者の方々に送信しているものです。

---

< 目 次 >

- 1 【事例紹介②】「一本木実践区（滝沢村）」 ≪ 読書推進 ≫
  - 2 【家庭学習】「家庭学習で大切なこと」
  - 3 【読書推進】レッツ！読み聞かせ  
～読み聞かせ方①「絵本の選び方編」～
  - 4 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
  - 5 【みんなの声】ぺっこ言い隊
  - 6 【編集後記】あつしのひとりごと
- 

- 1 【事例紹介②】「一本木実践区（滝沢村）」 ～読書推進～

第2回は、6月4日の盛岡地区（雫石会場）と7月13日の釜石地区（大槌会場）の教育振興運動推進研修会において発表をしていただいた「一本木実践区」の事例です。研修会では、親子読書の取り組みと次年度に生かすためにおこなったアンケートの集約について発表していただきました。

保護者の声に耳を傾け、改善に取り組もうとする姿勢から学ぶところは大きく、また、これから親子読書に取り組もうという他の実践区にとっては、アンケート結果は予想される反応として参考となり、事前に改善を加えた取り組みを考えることができると思います。

詳しい紹介は、こちらまで。（紹介事例をダウンロードできます）

⇒ [http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei\\_ippongi.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_ippongi.pdf)

☆次回から、「全県共通課題」に取り組んでいる今年度の事例を紹介していきます。

---

- 2 【家庭学習】「家庭学習で大切なこと」

江戸時代、庶民が寺子屋で学んでいたのは「読み・書き・そろばん」。これが基礎

中の基礎となる教育であり、当時の日本の識字率（文字の読める人の割合）は、世界一とされています。そこでは、素読といって「子、曰く・・・」と古典文学を声を出して読み上げさせていたのです。今で言うところの「音読」です。

脳科学分野で有名な東北大学教授 川島隆太 先生は、「音読をしている時、脳の神経細胞の7割以上が働き、脳は活性化してくる。」と述べておられます。音読は、脳の血のめぐりが良くなり、脳が元気になるというわけです。

そこで、家庭学習のはじめに親子で「音読ごっこ」をしてみませんか？5分～10分程度、好きな本や教科書を1ページずつ交互に読んでみるのです。脳のウォーミングアップにもなりますし、これを毎日続けることで読解力もグンと向上します。

家庭学習をさせようとする時、このように必ず親（それに代わる大人）がそばにいてあげてください。一人立ちして毎日勉強するまでは、一人ではなかなかできないものです。そして、ガミガミと言わずやさしく、ほめてあげてください。また、兄弟など、一緒に勉強する仲間がいると心強いものです。

学習内容は、先生が教えてくださいます。家庭では、「がんばってるね」とやさしく声をかけ、子どもの自己肯定感を高めながら、その気にさせてあげる。毎日、家庭学習をする習慣を身につけさせるには、「家庭学習は楽しく、うれしい気分になる」ようにさせることです。家庭の「安心感」が子どもの意欲を高めていくのです。

ここで、一首。

少しでも 間違いすれば 怒られる  
勉強なんて 大嫌い（あつし）

・・・「育てたように 子は育つ（みつお）」。勉強嫌いの子に育てないように。

---

### 3 【読書推進】レッツ！読み聞かせ（その3）

～読み聞かせ方①「絵本の選び方編」～

<絵本の選び方編>

#### (1) 「不易（本質的なもの）」と「流行（今にあったもの）」

何年の初版かを見て、それが25年以上を経た絵本は、世代を越えて今もなお読まれるロングセラーですから、その内容に間違いはありません。しかし、新しい絵本（〇年度ベストセラー）が、今の子どもの感性に訴え、楽しいものであることも事実です。仲間との情報交換を大切に、多くの絵本に接しましょう。

#### (2) 「読みたい本」と「向いている本」

「読んであげたい本」があったとしても、あなたの声その絵本の内容にあっているかどうかは別かもしれません。あなたが、別な絵本の適任者であれば、その「向いている本」が優先され、

あなたの「読んであげたい本」は、その別の適任者に読んでもらうほうが、それぞれの絵本の魅力が引き出されます。仲間との打ち合わせが大事です。

(3) 時には、子どもにも選ばせてあげたい。

2～3冊の絵本を準備して、その場で子どもたちに選ばせてあげると、子どもたちは受け身ではなく、主体的に読み聞かせ会に参加するようになります。

「こうでなければならない」ではありません。子どもに読み聞かせる仲間が集まった時の話題にしていだければ・・・と思います。

今回は、「読み聞かせ方②～事前準備編～」です。

---

#### 4 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(振ちゃん) あ～あ、夏休みが終わっちゃった。また、学校か・・・。

(教ちゃん) そうね。学校は楽しいけど、また忙しくなるわね。

(振ちゃん) そうなんだ。僕なんて、火・木・土・日曜日はスポ少で7時まで練習があって、毎日の宿題を出されてもできないよ。

(教ちゃん) 家庭学習の充実や読書の推進が「全県共通課題」となっているけど、スポ少(部活)や習い事で帰りが遅くなって、やる時間がないわ。それでも「早寝・早起き・朝ごはん」って言うし・・・。

(振ちゃん) 家庭学習は、小学生で「学年×10分」、中学生で「学年+1時間」なんて言うけど無理だよ。やる時間が保障されてないもん。

(教ちゃん) 大人は「頑張れ」って言うけど、スポ少(部活)・学校・保護者・地域・・・それぞれの立場の人が集まって、子どもの生活実態についてよく考え、話し合っって欲しいわ。

(振ちゃん) 大人と子どもが集まって子どもの生活を考える、これこそが教育振興運動だと思うんだけどな。

---

【みんなの声】ぺっこ言い隊

・・・お盆期間中で、ぺっこお休み。

実践区や職員室でメルマガを回し読んでの感想、家庭学習や読書について日頃思っている皆さんの声を、こちらにどんどんお寄せください。

⇒ [21kyoushin@gmail.com](mailto:21kyoushin@gmail.com)

---

【編集後記】あつしのひとりごと

学校に子どもたちの声が戻ってきました。子どもたちの声が聞かれない学校は、さびしいものです。やはり、学校の主役は子どもたち。子どもたちの夏休み自慢を、いっぱい聞いてあげて欲しいと思います。

ちなみに、あつしの夏の思い出ベスト3。

第1位；北上川ゴムボート下りに親子で挑戦！

携帯電話の水没で、ムーバからフォーマにステップアップ。

第2位；鶏糞まみれで夏野菜。畑2年目！

スイカ、かぼちゃ、きゅうり、ゴーヤ、ミニトマトを収穫！

第3位；マイ・ブームの燻製作り！

玉子に、チーズ、ソーセージ・・・。おいしいっす！

まず、やってみる。やってみるから、思い出になる。反省し、次につながる。

⇒ 第4号は、9月8日（火）配信です。

★このメールへの感想、ご意見・ご要望がございましたらこちらまで。

⇒ [21kyoushin@gmail.com](mailto:21kyoushin@gmail.com)

★教育振興運動に関する資料を見たくになりましたらこちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index.html>

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

★子育てに迷ったら、ひとりで悩まず「子育ていわてケータイサイト」に。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kt-shien/>

～～～配信元～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

\* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

⇒ 学校新聞の裏面に掲載しての各家庭への配布、回覧板を使っての自治会・子ども会への回覧も大歓迎です！

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～